

氏名

おおわた つねと
大渡 凡人

所属	リスクマネジメント歯科学分野、口腔保健・健康長寿推進センター(兼任)		
職名	教授		
最終学歴	東京医科歯科大学大学院歯学研究科	学位	歯学博士

専 門 分 野	歯科麻酔学、高齢者歯科学				
教 育 実 績	担当講座名称	単位数	講義時間数	実習時間数	学科・院の別
	歯科医療リスクマネジメント	16 単位	32.0 時間	0.0 時間	九州歯科大学歯学科
	長寿口腔健康科学コース・アドバンス病態科学	3 単位	3.0 時間	0.0 時間	東京医科歯科大学歯学部歯学科
	歯科全身管理学	1 単位	2.0 時間	0.0 時間	九州大学歯学部歯学科
	人体の構造と機能	2 単位	4.0 時間	0.0 時間	北九州小倉看護専門学校
	各論理学療法(循環)	7 単位	14.0 時間	0.0 時間	九州医療スポーツ専門学校
大学運営における主な役職履歴(過去5年間)	なし				
研 究 分 野	歯科麻酔学、高齢者歯科学				
研究課題	課題名	有病高齢者の安心安全な歯科治療を実現するための循環器系偶発症の予測システムの開発(2017, 2018, 2019年度科学研究費課題-基盤研究C(2)) 血管収縮薬が循環器系疾患を有する高齢者の循環動態変動に及ぼす影響に関する研究 血管収縮薬が高齢者の心電図QTc、T wave morphology、T wave alternanceに及ぼす影響に関する研究 有病高齢者歯科治療における全身的偶発症に関する不整脈ならびに心電図異常を中心とした疫学的研究 感染性心内膜炎予防を目的とした開心術前歯科治療の有用性と安全性に関する研究			
	キーワード(5つまで)	心電図、リスクマネジメント、循環器疾患、全身疾患、有病高齢者			
	共同研究等の実績	東京医科歯科大学との共同研究 A randomised double-blinded crossover study comparing QTc, blood pressure and heart rate after infiltration anesthesia: lidocaine with adrenaline versus prilocaine with felypressin			
研 究 業 績 (著書・発表論文等) (主要5編)	大渡凡人(単著) 全身的偶発症とリスクマネジメント—高齢者歯科診療のストラテジー—全身的偶発症とリスクマネジメント—高齢者歯科診療のストラテジー—医歯薬出版, 東京, 2012 P1-350				
	大渡凡人(単著): 高齢者歯科臨床ナビゲーション(疾患別内科エマージェンシー対応)(高齢者歯科臨床ナビゲーション(疾患別内科エマージェンシー対応)), 医歯薬出版, 東京, 2003, P1-300.				
	大渡凡人(共著), 疾患を有する高齢者の口腔健康管理, 第7章 脳血管疾患患者の口腔健康管理, 134-160, 口腔保険協会, 2017				
	Masahiro Umino, Tsuneto Ohwatari and Masanori Nagao, A new method of recording somatosensory evoked potentials by randomized electrical tooth stimulation with 6 levels of intensity, Pain, 64, 2, 269-276, 1995, 6.062.				
	Masahiro Umino, Tsuneto Ohwatari, Tosio Masuda, Yasuya Kubota, Effects of Extensive Oral Surgery and Hemorrhage on Coagulation and Fibrinolysis, J Oral Maxillofac Surg, 51, 5, 499-505, 1993, 1.948.				
産学官連携実績 (主要3件)	-----				
産学官連携 可能・希望分野					
取得した実用新案特許等 (主要5件)					
所 属 学 会 (主要5件)	日本歯科麻酔学会、日本老年歯科医学会、日本障害者歯科学会、日本有病者歯科学会、日本医療安全学会				